

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	国際協力に必要な経費			担当部局庁	長官官房			作成責任者		
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際課			国際課長 山本和毅		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	男女共同参画、ODA			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	外国治安機関や国際機関との緊密な連携を図るとともに、これらの機関との円滑な情報交換を実施することにより、国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安問題に対し、国際社会が協調して対応することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安課題に対応するためには、国内における対策のみならず、外国治安機関や国際治安機関等の緊密な連携が必要不可欠であり、外国治安機関職員等と情報交換を円滑に行い、国際的な協力が効果的に行われるよう、各国内の治安の状況や課題、警察組織のあり方等について相互に十分な理解を示した上で、適切な協力の確保に向け協議を実施するため、外国治安機関への訪問や外国治安機関幹部の招へい等を行うもの。									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	79	108	107	121	29年度要求			
		補正予算	0	0	0	0				
		前年度から繰越し	0	0	0	0				
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0				
		予備費等	0	0	0	0				
		計	79	108	107	121	117			
	執行額	58	67	69						
	執行率 (%)	73%	62%	64%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標 が設定でき ない理由 及び定 量的な成 果目標	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と25～27年度の達成状況・実績					
		国際協力の成果については、外国治安機関との信頼関係及び情報交換の促進等であり、定量的な成果目標を示すことは困難である。			事業の成果を検証するため、「国際犯罪に関する情報の交換件数」を代替目標としているが、平成25～27年度の3年間で、情報の交換件数は、24%増加している。					
	事業の妥当 性を検証す るための代 替的な成 果目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		各国共通の治安的課題等に対する国際協調の推進	国際犯罪に関する情報の交換件数(ICPOL-rt、件数は暦年値)	実績	件	76,104	88,196	94,737	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	我が国から外国治安機関への訪問件数等	活動実績	訪問等人数	74	45	75	-			
		当初見込み		74	45	75	43			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	我が国への外国治安職員等の招へい数	活動実績	招へい人数	148	189	162	-			
		当初見込み		148	189	162	256			

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト	計算式					
単位当たりコスト	外国治安機関等 訪問に係る全執行額/訪問人数 (延べ人数)		千円	302	389	241	612
			千円/人	22,358/74	17,504/45	18,045/75	26,333/43

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト	計算式					
単位当たりコスト	外国治安機関職員等 招へいに係る全執行額/招へい人数 (延べ人数)		千円	178	210	242	317
			千円/人	26,297/148	39,604/189	39,164/162	81,252/256

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)

歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
外国旅費	26	39	*「外国人招へい旅費」「招へい外国人滞在費」の減 主要国首脳会議警備経費(平成28年度)の減
外国人招へい旅費	64	49	
招へい外国人滞在費	17	8	
諸謝金	0.2	0.2	
物品購入	0.6	0.6	*日中韓警察局長級会議日本開催に伴う増
役務・委託等	13	20.5	
計	120.8	117.3	

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国の治安の維持・向上に大きく貢献するものであることからニーズを反映している。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が実施すべき事業である。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国際組織犯罪や国際テロ等に対応するには、国際社会の協力が必要不可欠であり、優先度も高い事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	原則、競争入札等により決定している。
一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
受益者との負担関係は妥当であるか。	○	治安の維持向上を鑑みて、負担関係は妥当である。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	競争性の確保により、コスト水準は妥当である。
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	随時、仕様書を見直し、必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用率の大半が、旅費となっている。(日程調整不調等)
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	随時、コスト削減に向けた仕様書の見直しをおこない、入札等を実施している。
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	国際犯罪に関する情報の交換件数(成果実績)が増加していることから、成果目標に見合ったものとなっている。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	当該活動は、実効性の高い手段といえる。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	成果実績の増加から、活動に見合ったものとなっている。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	国際協力を推進している上で、有効に活用されている。
関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検結果	物品購入・役務等については、警察庁において契約し、各管区警察局に配分している諸謝金等については、局から執行状況の報告をうけ、支出先及び使途を確認している。	
改善の方向性	国際協力については、国際組織犯罪、国際テロ等の世界各国共通の治安課題に国際社会が協調して対応していくためにも、引き続き推進する必要がある。経費を執行する場合、旅費については割引航空券の利用、出張期間・出張人数の精査等による経費の削減により経費の削減を図っているほか、物品購入、役務・委託等における契約についても、仕様書の見直しを行う等により競争性の確保を図り、効率的な執行に努めている。	

外部有識者の所見

引き続き、執行における競争性・透明性の向上を図ること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現状
通り

引き続き適切かつ効率的な事業実施に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状
通り

特になし。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	4	平成23年度	4	平成24年度	4		
平成25年度	80	平成26年度	74	平成27年度	67		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
69百万円

〔国際協力に必要な経費を直接執行する
ほか、地方機関に予算配分〕

<外国旅費>

<外国人招へい旅費・
招へい外国人滞在費>

【予算配分】

<役務・委託等>
【一般競争入札、
随意契約(少額)】

A.警察職員
(75人)
18百万円

B.外国人
(162人)
39百万円

C.管区警察局

東北管区警察局
0.04百万円

中部管区警察局
0.03百万円

近畿管区警察局
0.03百万円

四国管区警察局
0.01百万円

九州管区警察局
0.02百万円

D.民間会社
(7者)
11百万円

〔警察職員に対し
て、外国旅費を
支出〕

〔警察職員に対し
て、外国旅費を
支出〕

〔国際会議開催
に係る業務等
の役務等を提
供〕

<諸謝金>

E.外部講師
(2人)
0.04百万円

〔講師謝金を執行〕

〔外部講師に対し
て、謝金を支出〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.警察職員			B.外国人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	警察職員に対する外国旅費	18	外国人招へい 旅費	招へい外国人に対する旅費	33
			招へい外国人 滞在費	招へい外国人に対する滞在費	6
計		18	計		39
C.			D.(株) オー・エム・シー		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			委託	アジア・太平洋薬物取締り会議開催に係る 業務	8
計		0	計		8
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	警察職員	-	外国旅費(75人)	18	-	-	-	
2								
3								
4								
5								

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	外国人	-	外国人招へい旅費(76人)	33	-	-	-	
2	外国人	-	招へい外国人滞在費(86人)	6	-	-	-	
3								
4								
5								

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北管区警察局	0080001213001	予算配賦	0	-	-	-	
2	中部管区警察局	0080001213001	予算配賦	0	-	-	-	
3	近畿管区警察局	0080001213001	予算配賦	0	-	-	-	
4	四国管区警察局	0080001213001	予算配賦	0	-	-	-	
5	九州管区警察局	0080001213001	予算配賦	0	-	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)オー・エム・シー	9011101039249	アジア・太平洋薬物取締り会議開催に係る業務	8	一般競争入札	3	-	
2	ALLEN-LATLEY		車両借上(スイス)	1	随意契約(その他)	-	-	
3	(株)アブルインターナショナル	8180001055547	国際携帯電話借上げ	0.4	随意契約(少額)	2	-	
4	グラデュウス・マルチリンガルサービス(株)	3430001005225	平成27年度警察白書の翻訳	0.3	随意契約(公募)	7	-	
5	(株)サイマル・インターナショナル	6010001109206	通訳費用分担金	0.3	随意契約(その他)	-	-	m
6	日比谷クリニック		予防接種	0.2	随意契約(少額)	2	-	
7	(有)アクアテック	1010902017148	国際携帯電話借上げ	0.2	随意契約(少額)	2	-	
8								
9								
10								

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	外部講師(2名)	-	外部講師に対する諸謝金	0	-	-	-	
2								
3								
4								
5								

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	

国際協力に必要な経費

事業概要

- 国際組織犯罪、国際テロなど世界各国共通の治安課題が山積
- ▼
- 外国治安機関や国際機関等との緊密な連携、国際社会と協調した対応を図ることが必要不可欠
 - 外国治安機関職員等との情報交換
 - 各国内の状況や課題、警察組織の在り方等についての相互理解
 - 適切な協力の確保に向けた協議等の実施

予算の内訳・事業の具体例

平成27年度関係予算(69百万円)

